

1. 件名：「大間原子力発電所の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（111）」

2. 日時：令和3年10月15日（金）13時35分～15時30分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：岩田安全管理調査官、三井上席安全審査官※、佐藤主任安全審査官、中村主任安全審査官、永井主任安全審査官※、大井安全審査専門職、松末技術参与

電源開発株式会社※ 原子力技術部 部長 他8名

※テレビ会議システムによる出席

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

「大間原子力発電所の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（第110回、令和3年10月7日）」にて提出済み

- ・大間原子力発電所 審査会合における指摘事項について（地震・津波関係）
- ・大間原子力発電所 基準津波策定について（コメント回答）
- ・大間原子力発電所 基準津波策定について（コメント回答）（補足説明資料）

（参考）第110回事業者とのヒアリング概要・資料

https://www.nsr.go.jp/disclosure/committee/yuushikisya/tekigousei/power_plants/ohama/meeting/index.html

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	この上叢ヒアリングに引き続きまして、2018年、2020年20年の審査会合における波源の組み合わせ等に関わるコメントに対する回答。
0:00:12	及びその先にあります。基準津波策定まで、資料も聞いて説明させていただきます。
0:00:19	弊社といたしましては、8月27日火曜プレート内地震の審査会合以降、こちらの準備の関係もございますけど、9月10月の審査会合が開催されておりませんので、
0:00:33	津浪に関して近隣地点との関連はさておきまして、本日お示しする資料でこれまで大間地点の審査でいただいたコメントに対してはすべて該当する形となりますので、是非とも掃気審査会合で、
0:00:49	ご審議いただきたく考えておりますので、よろしくお願いいたします。
0:00:56	それでは、配付資料とコメントリストですね、念のため資料の確認をさせていただきます。
0:01:03	本日御用意した資料は、市営右上にですね、Ca155、156の番号を記載した2冊とコメントリストがございます。ちょっと内容については確認は割愛させていただきます。
0:01:19	それでは基準津波策定についてのコメント回答資料について、担当の神田課長から御説明いたします。
0:01:29	説明時間は25分前後30分かからないと思いますので、よろしくお願いいたします。
0:01:41	はい。電源開発カンダでございます。よろしくお願いいたします。
0:01:45	当資料につきましては前回と同様にですね本編資料と補足資料の二つを使わせていただきます。
0:01:54	まず本編資料につきまして、
0:01:57	ローマ数字の6ページをご覧ください。
0:02:05	はい。コメントナンバーとしましてはS-5-36S-42。
0:02:11	これここに関わる説明をさせていただきたいと思います。この前段のコメント回答につきましては前回の打ち合わせで御説明をさせていただいた内容となります。
0:02:24	はい。まずS-5-36でございますけれども、平成30年度審査会合627回の会合でいただきました組み合わせに関する上げの組み合わせに関するコメントであります。
0:02:38	この当時ですけれども、日本海等縁部に想定されます地震に伴う津波等3エリアの斜面崩壊に起因する津波、これを組み合わせることの妥当性と。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:49	で取水口スクリーン室前面におきまして、水位の時刻歴派遣を線形に足し合わせておりますけれども、その妥当性を説明することというコメントでありました。
0:02:59	一部 2020 年の 6 月 19 日 868 回の審査会合で御説明させていただいておりますが、情報アップデートして再度説明させていただきたいと思っております。
0:03:11	42 でありますけれども防波堤のありなし有無について、
0:03:19	評価ですね、内場合についても波源が異なる場合は採用するというような方向で検討すべきというコメントをいただいております。
0:03:28	これについてもなどを説明させていただきたいと思っております。
0:03:33	ここに関わることとしてですねちょっと復習しないといけないところもありますので、まずちょっと飛びますが、SA等欧米諸さん。
0:03:43	の 5-2 ページをお願いします。
0:03:56	はい。資料といたしましては、3 のほうの地震以外の要因による津波のまとめでございます。
0:04:04	かなり大地震以外の要因による津波については、ちょっと時間を要しておりましたが時間厚い時間がたっておりますので、どういう状況であったかというところコーナーにも関わりますので確認をさせていただきたいと思っております。
0:04:18	表が 2 段ございますけれども上段がですね、陸上の斜面崩壊と海底地すべり E の評価のうちですね、上昇側下降側のチャンピオンケースについてであります。
0:04:32	下段の表につきましてはこれははげ書についてのまとめということで、いずれにしてもですね、地震以外の要因による津波につきましては、上昇側下降側とも以上の斜面崩壊対象破碎エリアの地すべり地形と、
0:04:48	ということになりますけれども、これが一番になりますということでご説明をすでに差し上げているという状況であります。
0:04:58	1 枚めくっていただきまして 3-6 の 2 ページをお願いいたします。
0:05:02	3 章は、地震以外の要因による津波でありまして、3-6A3 の 6 章といたしましては、この防波堤等の影響について検討をして付け加えております。
0:05:17	当行あの防波堤等はですね津浪影響軽減施設等はしておりませんので、地震による損傷が否定できないということで防波堤等がないケースについて検討するというので時申請の際に 1 次系と説明させていただいた考え方と同じであります。
0:05:34	検討対象につきましては、敷地に与える影響が最も大きいというふうに評価いたしました上昇側下降側とも佐井エリアの地すべり地形ということを対象にしてございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:45	と考え方はですね同じですので、結果、3-6-9 ページをお願いをいたします。
0:05:55	はい。防波堤がないケースにつきましては同じようにある計装同じようですね、2層流モデルと既にはテックランドスライドモデルを用いまして、再への陸上の斜面崩壊に起因する津波について評価をした結果でありますけれども、
0:06:11	いずれもにはてくランドスライドモデルを用いた場合、上昇側下降側ともが、
0:06:18	影響が大きいということを確認したということでございます。
0:06:23	続きまして4章、4-2 ページをお願いをいたします。
0:06:28	津波発生要因の組み合わせに関する検討であります。
0:06:32	防波堤等があるケースと防波堤等がないケースこの両ケースについて検討を行うこととしてございます。
0:06:39	組み合わせ対象でありますけれども下に記載の通り、防波堤等ありなしともにですね、地震による津波につきましては上昇側日本海等及び想定される地震に伴う津波、下降側は内閣府 2020
0:06:55	モデルによる津波。
0:06:57	地震以外の要因による津波につきましては上昇側下降側とも佐井エリアの陸上の斜面崩壊に起因する津波ということで検討を進めてございます。
0:07:07	の3ページをお願いをいたします。
0:07:10	組み合わせ方法でございますけれどもこれはもう先行炭酸とですねの考え方は同じでありまして、
0:07:17	それぞれの地震による地震動によってですね、陸上の斜面崩壊が発生するものといいたしまして、斜面崩壊位置での地震動到達に要する時間、
0:07:29	それと斜面崩壊地での地震動継続時間、こういうものを用いまして、
0:07:38	と敷地の津浪そういうの変動量が最も大きくなる斜面崩壊の開始時間を設定すると。
0:07:45	ということでこれを組み合わせ、時間いますということで設定をしてシミュレーションに組み込んでいくということを実施してございます。
0:07:55	4-4 ページをお願いいたします。
0:07:57	まずですね、上昇側の防波堤等ありの検討対象津波でありまして、先ほど申し上げた通り、時申請については縁部非地震性Aについては、最後の斜面崩壊、
0:08:12	このをセットで組み合わせをするということであります。
0:08:16	4-5 ページをお願いいたします。組み合わせに関わります組み合わせ時間差の設定でありますけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:24	結論としては、組み合わせ時間差としては 39.6 秒線形足し合わせでは 39.6 秒差をもってですね、最大値が出るということを確認してございます。この時間差をもちまして同一波動場でのシミュレーションを消したというのが 4-6 ページ。
0:08:41	でありまして、結果、上昇側の最大水位上昇量が 6.59 メーターというふうになったというものであります。
0:08:50	4-7 ページをお願いいたします。
0:08:53	同じく続きまして下降側の防波堤ありの組み合わせの波源ということであります 4-8 ページをお願いいたします。
0:09:02	これも考え方同じでございまして組み合わせ時間差としては 304.4 秒の際に、
0:09:08	下降側の
0:09:12	線形足し合わせの水位が最も低くなったということであります。
0:09:17	4-9 ページをお願いいたします。今申し上げました時間差、304.4 秒を使いまして、シミュレーションをした結果でありまして、
0:09:27	取水口スクリーン室前面におけます最大水位下降量マイナス 5.2 メーターだったということであります。
0:09:33	4-10 ページをお願いいたします。
0:09:35	上昇側でありまして今度は防波堤なしということであります。
0:09:40	4-10 ページは波源の対象波源
0:09:44	4-11 ページ同じくA組み合わせ時間差として 42.2 秒というものを求めております。
0:09:51	4-12 ページ、結果でありまして敷地における最大水位上昇量は 5.5 を始めたという結果でありました。
0:09:59	4-13 ページをお願いいたします。
0:10:01	下降側の防波堤等なしの
0:10:05	組み合わせ対象であります。
0:10:07	4-14 ページをお願いいたします。
0:10:09	組み合わせ時間差は 304.4 ということでもともとやっております。
0:10:14	4-15 ページをお願いいたします。この 304.4 秒使いまして当時能率波動場でシミュレーションした結果ということで、
0:10:23	最大水位下降量はマイナス 5.09 ということで確認してございます。
0:10:28	以上をまとめましたのが 4-16 ページでありまして、
0:10:32	上下に区分しておりますけれども、上段が防波堤ありの上昇側下降側、
0:10:40	下段が防波堤等なしの上昇側下降側ということでありまして、数字を比較いたしますと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:47	上昇を最大水位上昇量及び最大水位下降量につきましては防波堤等ありのほう、いずれも影響としては大きいということがこれで確認ができます。
0:10:59	ご承認行きたいと思います 5-1-2 ページをお願いいたします。
0:11:04	基準津波の選定ということで、
0:11:07	検討方針でありますけれども、敷地に与える影響が最も大きい波源モデルにつきまして防波堤等があるケースとないケースとで、ほとんどなのかどうかということも検討を行います。
0:11:23	10 ページ及びその次のページでお示しをいたしますけれども、防波堤等があるケースとないケースともにですね、敷地に影響が最も大きい日本海等縁部に想定される地震と陸上の斜面崩壊の重畳、これが上昇側の津波の波源と。
0:11:39	チャンピオン上げことになります。
0:11:41	加古川については内閣府モデルによる地震と陸上の斜面崩壊の重畳による津波、これがちゃんと改善ですので、
0:11:49	それぞれ、これらについて検討対象とするということにしたいと考えております。
0:11:55	これらの結果からですね、敷地に与える影響が最も大きい波源がですね、防波堤等の有無によります異なる場合は、防波堤等があるケースに加えて防波堤等がないケースも波源モデルを基準津波策定に関わる波源
0:12:10	選定せんと。
0:12:11	いう方針で検討を進めております。
0:12:14	またオオイ水位下降側の基準津波を対象といたしまして、
0:12:19	津波水位が貯留堰の天端高さを下回る継続時間、これについても検討を進めるということで資料化してございます。
0:12:28	5-1-3 ページをお願いいたします。
0:12:31	これもですね、基準津波の選定の防波堤等ありでこの前段で検討してきたそれぞれの津波のチャンピオンケースを一覧にしております。この中でも上昇側の
0:12:48	歳月としましては組み合わせ日本海東部に想定される地震と陸上の斜面崩壊の帳票に伴う津波。
0:12:57	花崗岩についても組み合わせケースということで内閣府モデルと陸上斜面崩壊の組み合わせです。
0:13:02	いうことで整理してございます。
0:13:05	この 1-4 ページをお願いいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:08	防波堤等なしについて検討した結果を一覧にしております。この場合も、いずれの場合もですね、組み合わせが上昇側下降側はいずれの場合も組み合わせ係数がちゃんとになるということを確認しております。
0:13:24	ですので上昇側についての波源花崗岩についての波源をそれぞれ比較すると。
0:13:29	いうことを 5-1-5 ページからは実施しております。
0:13:33	基準津波の選定の上昇側ということで、資格を二つ準備してございますけれども、左側が防波堤と終わりの見えチャンピオンケース、下降側が防波堤等なしのチャンピオンケースの波源を横に並べて比較をしていると。
0:13:51	いうことでありますが、当然斜面崩壊の波源は一つですのでこれは変更あり予定と同じものということでもありますけれども、日本回答縁部に想定される地震については、
0:14:05	傾斜方向と、あとアスペリティの位置、それと上縁深さ、こういうものが違うということになるということを確認をできる確認ができた。
0:14:14	いう整備でございます。
0:14:16	5-1-6 ページをお願いいたします。
0:14:19	今度、下降側の波源についてですけれども、防波堤等あり防波堤となしともにですね。
0:14:26	加古川の波源については、
0:14:29	いずれも同じということになります。内閣 2020 モデルにつきましても、破壊開始点がですね 2 点ありますけれども、防波堤等が防波堤等がある場合もない場合も同じということを確認しておりますので、加古川については波源は、防波堤等があってもなくても同じであって、
0:14:47	事を確認しております。
0:14:49	5-1-7 ページをお願いいたします。
0:14:52	医療の検討からですね、敷地において最大水位上昇量が最大となる津波、取水口スクリーン室前面において水位下降量が最大となる。
0:15:01	津波を基準津波として以下の三つへ基準津波 123 を選定をしたということでもとめております。
0:15:10	ちょっと繰り返しになりますけれども、基準津波 1 はですね、日本海等 M1 に想定される地震と陸上の斜面崩壊の重畳に伴う津波。
0:15:19	これは防波堤等ありのケースであります。
0:15:22	以前津波につきましては、内閣府モデルと
0:15:25	2 対角モデルによる地震と陸上斜面崩壊の重畳による津波防波堤等ありであります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:33	基準津波 3 ですけども、これは日本海等MIに想定される地震と陸上の斜面崩壊の重畳に伴う津波の防波堤となしということで 3 ケース。
0:15:43	でございます。この 1-8 ページから 5-1-9 ページの 1-10 ページについては、今申し上げました、基準津波の 1 から 3 についてまとめているという資料でございます。
0:15:58	英語の 1-11 ページをお願いいたします。
0:16:04	貯留堰の天端高さを下回る継続時間の評価ということでありますけれども、検討方針といたしましては、下降側の評価については、推移下降量が最大となる基準津波②というものを選定をしたということは先ほど申し上げた通りです。
0:16:22	で下降側の評価についてにおいてはですね、津浪水が貯留堰の天端高さを下回る場合、原子炉補機冷却海水ポンプに必要な取水が確保できることを確認する必要があるということになります。
0:16:37	貯留堰の天端高さを下回る継続時間は、水位下降量が大きくなるケースで長くなるというふうに考えられますので、水位下降が下降量が最大となります基準津波②について、
0:16:51	この時間というものを比較をするということを実施をするということで検討してございます。
0:16:56	貯留堰天端高さを下回る継続時間なんですけれども、
0:17:01	は貯留堰前面の朔望平均干潮位を考慮した水位時刻歴はこれこれが貯留できてまださを下回る時間を算定するという方針で検討してございます。
0:17:13	また、或いは原子炉補機冷却海水ポンプの運転可能継続時間につきましては、海水貯留量に対する
0:17:23	原子炉補機海水ポンプの運転可能時間より選定をしておりますと算定をしております 35。
0:17:30	いうことはこれは液位だって決まってくる。
0:17:33	なお、先ほど基準津波②を対象とするというふうに申し上げましたけれども、各津波周期特性も異なって参りますので、念のため、
0:17:44	記述に②以外ですね、最低水位が貯留堰の天端高さを下回るオカのままについても、これらの継続時間については確認をするということで実証してございます。5-1-2 ページをお願いいたします。
0:18:00	この 1-12 ページをお願いいたします。
0:18:03	左下にですね、誤差右下ですね、右下に取水の断面図を記載してございます。前回のヒアリングでも少しご指摘受けてですね、補足説明させていただきましたけれども、
0:18:18	この

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:20	図のですね、左 8 近くに貯留堰という西縁置けA断面でと正方形のような構造物、これを設置するという方針で今検討しているところで方針であります。
0:18:36	ですので、この貯留堰天端高さがTPマイナス 4.0 を集めたとなるような貯留堰を設置した際の調理をということを対象として検討を進めるということで実施して参りました。
0:18:50	役所になりますけれども、水位下降量が最大となります基準津波②について貯留できてまださを下回る継続時間、これを比較をしました。その結果でありますけれども、中A中央少し上にですね。
0:19:06	葉系の図がありますけれども、
0:19:10	この図には来物はですね朔望平均干潮位マイナス 0.37 メーター部の葉系をTP PPゼロから計算したはけ他所分下側にずらしまして、朔望平均干潮位を考慮して、下葉系であります。
0:19:27	で、マイナス 4.08Eのところですね、点線で可避でございますけれども、先生を下回る時間のうち、最長の箇所ということで、192 秒ということで求めています。
0:19:42	ですのでの天端高さを下回る時間の最長のながら最長の時間というのは約 3. に来るとということになりまして、
0:19:52	原子炉補機冷却海水ポンプの運転可能継続時間 35 号有意に下回るとことは確認をしております。
0:20:02	中段右側の表にありますけれども、隆起沈降の考え方につきましては、実際ですね、この波源と下降側の波源は内閣を挙げてありますので、沈降へ 1 メーター以上の沈降が生じるというところはあるんですけども、
0:20:20	保守側にこの沈降を考慮していないと。
0:20:22	そういう形で検討を進めております。
0:20:26	5-1-13 ページをお願いいたします。
0:20:31	はい、先ほどご覧いただきました防波堤等ありとなしですね、基準津波の選定ちら 5-1-3 ページでこの 4 ページで示したものでありますけれども、
0:20:41	整理した下降側の津波のうち、朔望平均干潮位を考慮した場合ですね、最低水位が貯留堰の天端高さを下回るというケースは 5 ケースございました。
0:20:53	この 5 ケースについて同じように、天端貯留できの天端高さを下回る継続時間を算定しております。
0:21:01	上の表が防波堤等ありの 3 ケースについて整理したものでありまして、下の表が防波堤等なしの 2 ケース。
0:21:12	この表に行くと右から等にですね、これがそう継続時間ということになりますけれども、この中でも、最長は、基準津波②の 192 名様で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:26	いうことを確認をしておりますので
0:21:29	この評価の対象と堰と現在今とすることはまだ当然ということは確認をしてございますもの1の14ページは今申し上げました継続時間の
0:21:40	検討に用いたハケであります。
0:21:43	この2-1-2ページをお願いいたします。
0:21:50	基準津波の策定に関わって既往津波と比較ということを実施してございます。
0:21:55	検査①から③についてですね、企業の津波との比較をし、これらが
0:22:05	これらを上回っているということを確認すると、あと実施してございます。
0:22:10	対象は既往津波のところすでに検討説明させていただいておりますけれども、右下にありますように、のを個目位置にありますように、741年の渡島大島火山津波、1856年の青森県等、地震津波、
0:22:27	1960のチリ地震さこれを選定しているということでもあります劣化後も、2-1-15ページをお願いいたします。
0:22:40	はい。
0:22:43	上の表はですね、既往津波の波源モデルによります最大水位上昇量であります。
0:22:50	下の表が基準が2123の水ということになりまして、いずれのケースにおきましても、上昇側下降側とも基準津波のほうが影響が大きいということは今してございます。
0:23:04	5-2-1-16ページをお願いいたします。
0:23:08	既往津波の比較の二つ目といたしまして、想定津波群の計算津波高、
0:23:14	そうですね。企業津波高及び津波堆積物の分布だからさ、これを比較をしてございまして、想定津波群の計算津波高は既往津波高及び津波堆積物の分布高さをすべて上回っているということも確認をした。
0:23:31	いうことであります。
0:23:34	5-2-2-2ページをお願いいたします。
0:23:39	今度は記述なり①から③と行政機関の励んによります、津浪について比較をすると。
0:23:49	いうことであります。
0:23:51	で、行政機関もですね詳細検討につきましてはこのキャプションの一番下に記載の通り、2-6章の行政機関が想定する波源モデルや津波って、説明をしておりますのでそちらのほうをご覧いただきたいと思いますが、思いますけれども。
0:24:07	比較の際に最終の結果ということで5-2-2-3ページ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:11	やりまして、表が三つありますけれども、上の二つが行政機関の津浪評価による新設或いは最大水位変動量ということでもあります。
0:24:22	下段の表が基準津波①から③ということでもありますけれども、上昇側下降側とも行政基準津波のほうから行政機関の評価を上回ると、
0:24:34	ということが確認できたということでもあります。
0:24:37	6-2 ページをお願いいたします。
0:24:41	最後、基準津波ということで整理しております、
0:24:45	基準津波策定値につきましては、敷地から大きい約 2km、水深約 50 メーターの地点を選定をしたと。
0:24:53	ということでありまして、この点におけます計及び水位について 6-3 ページにまとめております。
0:25:02	はい、基準津波 1 につきましては、最大静左下の表ですね、最大水位上昇では 1.67 であります、ここに朔望平均官邸満潮位を足して TP+2.2 メーターになると。
0:25:17	基準津波②、③についても同じような整理をしているということでもあります。
0:25:24	はい、本編資料については以上であります。
0:25:27	続きまして、補足説明資料について説明をさせていただきます。
0:25:32	少し飛びますけれども 9-1-2 ページをお願いいたします。
0:25:39	組み合わせ対象地すべりエリアの選定であります。
0:25:44	コメントといたしましては組み合わせ対象とするですね、斜面崩壊として、佐井エリアでいいのかどうかということについて、コメントいただきました。ですので、この組み合わせ対象として佐井エリアを選ぶということ
0:26:00	もう妥当性を示すために検討を進めております検討のフローでありますけれども、下に示しますように、まず一つ目、組み合わせ対象の陸上の斜面崩壊を抽出するというのを目的といたしまして、
0:26:15	地震性の上昇側のチャンピオンケースであります日本海等への想定される地震に伴う津波はけえ下降側については内閣府の内閣府 2020 モデルによる津波発見これと、
0:26:28	各エリアを斜面崩壊に起因する津波のはけこれは概略の検討応用の葉系ということで、本編資料で準備したものでありますけれども、これらを線形で足し合わせるということを実施をさせていただきます。
0:26:44	これで債エリアがその影響が大きいということが確認できれば検討終了ということにすると。
0:26:52	一方ですね、佐井エリア以外の影響が大きいということになりましたら、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:00	その対象エリアについて詳細の数値シミュレーションH系の形とかです。ね。そういうところを来現指定数値シミュレーションを実施をするということをして最終的に線形足し合わせを再度実施をして比較をするということを実施してごさいます。
0:27:20	9-1-3 ページをお願いいたします。
0:27:23	まず一つ目のフルード一つ目の検討として組み合わせ検討対象の陸上の斜面崩壊の注意するということで、グラフが沢山並んでおりますけれども、横方向にエリア別、左から足留置函館
0:27:38	SIerさん立っていただきたいというふうに並べておまして、一番上段のは径が日本海投影部に想定される地震が想定される地震に伴う津波の明けであります。これはすべて同じ。
0:27:52	中段でありますけれども、これは各エリアの
0:27:56	斜面崩壊に伴う津波は概略経営供用の津波だけ。
0:28:01	ということになりますのでこれらを重ね合わせた足し合わせたものが最下段の図ということになりまして、最も大きい水位を比較をしますと、一番大きいのは、再一番左側の佐井エリアにおきます 5.94 と。
0:28:18	ということで一番右側のさ失礼しました。Siriうちエリアの 5.94 ということで、一番右側の細エリアの 5.63 を上回るということを確認いたしました。
0:28:29	9-1-4 ページをお願いいたします。
0:28:31	これは下降側です。考え方は同じでありまして、対象齋場だは内閣府モデルによる津波のはけであります。
0:28:40	最下段が線形足し合わせの結果でありますけれども、
0:28:44	これもですねチャンピオンケースが知りうちエリアのマイナス 5.61 ということで、尻別搭載エリアの 5.41 を上回るということを確認してごさいます。
0:28:55	9-1-5 ページをお願いいたします。
0:28:57	今申し上げたように、
0:29:00	各エリアの概略影響検討用の発揮を使っただけ幸せによりますと、上昇側下降側とも知りうちエリアの陸上の斜面崩壊が抽出されるということになりましたので、シリーズ 1 エリアを対象として詳細の数値シミュレーションを実施いたしました。
0:29:18	9-1-6 ページをお願いいたします。
0:29:20	大庄の真一の対象の指示エリアを示しておまして、解析の手法としては、
0:29:31	陸上の斜面崩壊の今のところ御説明をした通り、2 層流モデルとKinematic landslideモデルの二つを使うと。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:39	ということです。一つ系の作り方等についても考え方は同じでありますので、結果 9 のうちの 17 ページをお願いいたします。
0:29:53	はい、陸上の斜面崩壊に起因する津波の足留置エリアについて詳細に検討した結果であります。
0:30:01	当たり囲っているのがシリンジエリアでありまして、敷地における最大水位上昇量は 0.6 メーター程度。
0:30:08	花崗岩については 0.5 メーターから 0.7 メーター程度ということで 1 メーターいかないということになります。
0:30:15	参考にありますけれども、佐井エリアについては上昇側 4 メーター 5 メーター 弱下降側にメーター 3 メーターということで、との比較はこれでわかるということになります。
0:30:28	で、9-1-8 からですね、今
0:30:34	詳細に検討しまして留置エリアの葉系が手に入ったということで、そのハケを使って線形足し合わせをするということで 9-1-8 にその対象を記載してございます。
0:30:46	9-1-19 ページはこれは先ほど申し上げた組み合わせの考え方ですので飛ばさせていただきます、私いただきます、9-1-20 ページです。
0:30:55	左側が最エリアで右側が主に内エリアですけれども、上段が業界等及びH中段が詳細検討による各陸上の斜面崩壊に伴う津波の派遣、これらを足し合わせたものが差益だと。
0:31:11	ということになりますけれども、上昇側については、佐井エリアが 5.79 であるのに対して、市有地エリアは 5.09 ということになりました。
0:31:21	9-1-2、21 ページをお願いいたします。同じく下降側にあります。
0:31:26	地震性の津浪は内閣府の 2020 モデルであります。
0:31:30	これらを線形足し合わせた結果の下降側の
0:31:34	最大水位下降量でありますけれども、佐井エリアがマイナス 5.40 メーターに対して市有地エリアはマイナス 5.1m、
0:31:42	ということになりましたので、詳細に検討したところ、やはり組み合わせの検討対象として破碎エリアが最も影響が大きいだろうということを確認ができたということを 9-1-22 ページに記載をさせていただきます。
0:31:57	最後 9-02-2 ページをお願いいたします。
0:32:01	線形足し合わせを実施してございますけれども、／幸せの地点としてですね、取水口スクリーン室前面とすることでもいいのかということコメントとしていただきました、この妥当性を示しますと、示すために以下の検討実施でございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:19	日本回答Mに想定されます地震に伴う津波と陸上の斜面崩壊に起因する津波の最大水位上昇量分布から、以下の3. 常。
0:32:32	比較の検討対象地点とするということいたしました、まず一つ目が従来通り取水口スクリーン室前面での端合わせ
0:32:42	二つ目が2本回答MD想定される地震に伴う津波の最大水位上昇量発生地点、ここでの津浪のを当方に合わせて物を考えていると。
0:32:54	ほかにあります、三つ目が、陸上の社名を買いに起因する津波の最大水位上昇量発生地点と、
0:33:01	この3点について、
0:33:03	逆をしていくという事を進めております。
0:33:07	9-2-3 ページをお願いいたします。
0:33:10	前段としてですね、敷地前面の評価数値の抽出位置左の図のですね、過疎赤の実線がありますけれども、ここにおけます日本海投影部に想定される地震に伴う津波等で既存の斜面崩壊、佐井エリア。
0:33:26	陸上の斜面崩壊に起因する津波の最大水位上昇量分布を並べ比較をいたしました。
0:33:33	右側の上段の図が、これが2本回答M想定される地震に伴う津波であります。
0:33:40	当んつき前面の評価水位抽出位置の前面に対応全員に対してですね、津波が遡上しているという状況が確認できます。一方下段でありますけれども、苦情の斜面崩壊に起因する津波につきましては、これ紙面で言うと、グラフの右側が左側が南側、
0:33:59	右側が北側ということになりますけれども、敷地の南側には遡上しますが、北側には遡上しないという、そういう形態を示しているということを確認してございます。
0:34:11	9-2-4 ページをお願いいたします。
0:34:13	遂行スクリーン室前面でのK-ば幸せ結果でありまして、
0:34:20	上段が2本回答縁部下段が中段が陸上の斜面崩壊。
0:34:25	下段の重ね合わせということで、トップが5.9メートルでありますということであります。
0:34:31	9-2-5 ページをお願いいたします。
0:34:33	二つ目の地点としまして、日本海等Mに想定される地震に伴う津波の最大水位上昇量発生地点で発見を比較してみました。
0:34:44	上段日本海等及び想定される地震に伴う津波わけはもちろん、この地点に波が届くということではありますけれどもパルス的に一時的に届いていると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:55	一方下段の表でありますけれども、この地点には、陸上の斜面崩壊に伴う津波が到達しないということで線形足しな足し合わせができないということになりますので、
0:35:06	ということを確認できました。
0:35:08	9-2-6 ページをお願いいたします。三つ目として、陸上の斜面崩壊に起因する津波の最大水位上昇量発生地点を対象として足し合わせを検討いたしました。
0:35:20	上段の日本回答Mに想定される地震に伴う津波もこの地点には到達をしてございます。六法大体地震発生から 70 分。
0:35:30	ぐらいのところまで到達をして浸水するという確認が指定できますけれども、中段もグラフですね、陸上の斜面崩壊に起因する津波については、大体 3 地震発生から 30 分よりも前の時間で、
0:35:46	登場するということでパネラー重ね合わせ時刻がないということになりますので、時間差を求めることができないということになります。
0:35:56	9-2-7 ページをお願いいたします。
0:36:00	以上からですね、
0:36:03	1000 件を足し合わせA-1 の評価地点としては、取水口スクリーン室前面、
0:36:08	とすることが妥当であるということで検討を
0:36:13	まとめてございます。
0:36:15	はい、えっと、ちょっと駆け足になりましたけれどもこちらからの説明は以上になります。
0:36:24	はい。それではこちらのほうから確認したい事項等あれば、準備をお願いします。
0:36:33	はい。規制庁の中村ですけども、隻ご説明ありがとうございました。何点か確認させてください。まずですね、
0:36:43	ちょっとページ数が出たけど、
0:36:46	まず初めに、防波堤の有無のところのコメントに対して説明してたんですけど、今日の説明っていうのは、
0:36:54	例えば 3-6-1。
0:36:57	ですかね。
0:36:58	3 の 6 章のところでも 3-6-1 ですこう防波堤の有無のところのコメント回答で説明してましたけど、
0:37:07	これは 2 の発想の防波堤のところはもう今回の会合とかでは説明はされないっていいんですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:21	はい、電源開発カンダでございます。前回のですね開口で西勝ですね、2-8も含めて2章説明させていただいておりますので、今回の会合の対象からは外れるかなと思っておりますが、ただ、
0:37:37	4章ですね、組み合わせに関わる場所ではありますので、やはり少し触れたほうが良いということであれば触れさせていただいて、4章に飛んでいくというようなことでよろしいでしょうか。説明するしないというのは判断は任せますけども、
0:37:56	必要に応じてですねコメントで地震のほうのコメントも含めて説明もするのであれば、ちょっとそちらのほうで考えて必要と思えばしてください。とりあえず今回は、
0:38:13	地震以外の方で説明したということは理解はしてはるんですけども。
0:38:18	まずその点ですね。
0:38:21	はい、電源開発カンダでございます。墓石の通りほうに小地震のところでのコメントもいただいておりますので、その流れで後半ですね、下流側に関係する情報として説明する方向で
0:38:37	したいと思います。
0:38:40	はい、お願いします。続いてもう1点は、これちょっと
0:38:45	念のためということでちょっと説明をしてもらいたいですけども、資料でいうと4-5ページ、4-6ページぐらいですかね、さらっとちょっとさここ結論だけ言われたんですけども。
0:39:00	4-5ページで言うと時間差っていうのが39.6秒で4-6でいうと、結論的には、最大水位上昇量が6.59っていうところがもう答えだけ言われたんですけども。
0:39:16	ちょっとその過程のところだけですね、他の後ろのページも全部同じになるんですけど、ちょっと念のため教えてもらえますか。
0:39:27	はい、電源開発カンダでございます。
0:39:30	まず、ちょっとこれはもちろん要望も3ページからちょっと説明させていただきたいと思います。
0:39:36	当組み合わせ方法としましてはキャプションを一つのキャプションに書いております考え方としてはですね、地震による地震動によって、それぞれの地震による地震動によって社名陸上の斜面崩壊が、
0:39:52	発生するということを想定しております。
0:39:56	グラフで示しますと右下のグラフなんですけれども、黄色の参画で示しておる規定で地震が発生したとしてですね。
0:40:07	陸上の斜面を買いEが発生する、実施陸上の斜面崩壊まで

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:13	CCb陸上の斜面崩壊の地点までですね、地震動が発生他を断つするまでの時間をTSと。
0:40:21	しております。
0:40:22	そこから斜面崩壊の箇所地震動が継続する時間が来リートしておりますので、このKDのいずれかで斜面崩壊が発生するということを検討しているということであります。
0:40:37	A棟に4-5ページに見ていただきまして、
0:40:43	今申し上げましたこの時間ですね、陸上の斜面崩壊が発生する時間が限定されますので、その限定される時間の中で、線形に足し合わせたときに、最大水位が発生する時間サトウは何秒かということ
0:41:02	検討したのが39.6秒ということあります。ここはご理解いただいているかと思いますが、4-6ページとの関係でありますけれども、
0:41:11	4-6ページについては、
0:41:14	日本回答縁部の地震、これのシミュレーションと社名崩壊のシミュレーション伝播のシミュレーションの津波伝播のシミュレーションを行うんですけれども、日本海等Mの地震が発生した後、斜面崩壊が発生するまでに
0:41:30	時間差がありますので、そのをおくらせる時間として39.6秒というものをシミュレーションに組み込んで、それぞれ二つの波が敷地に届いた。どういう数字で届くかということシミュレーションしたのが、
0:41:46	明日結果が6.59メートルということあります。
0:41:56	はい。説明以上ですよ。
0:42:00	はい。
0:42:02	はい、わかりました。ちょっと念のため聞きました。
0:42:05	あとは、私のほうから沖のところはないんですけども。
0:42:10	すいません、細かいとこですけど、5-1-9ページ。
0:42:16	これはもうずに、つけ足してもらいたいところですけども。
0:42:20	5-1-9の真ん中ぐらいに
0:42:23	マイナス5.22っていうのがあるんですけど、これ、取水口のところですよね。コメント、例えば5-1-10だったら、
0:42:32	津波水位評価位置っていうのが書かれていると思うんで、そこもつけとってもらってもいいのかなっていうのが1点と。
0:42:42	すいません、細かいところで、
0:42:47	はい、電源開発カンダでございます。嘔吐ご指摘の通り5-1-8ページ。
0:42:55	いいですと、そうですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:58	ですと、青線の津波水位抽出位置、この捨て洗浄の分も以浅コメントいただいて出しておりました。
0:43:09	のもの 1 の 9 ページは下降側の評価ですので、取水口スクリーン室前面の一部がですね、短い洗浄をなので、あえてませんとんと同じような図化はしていなかったんですけども、
0:43:25	同じように図化をするという保守的というふうにとらえてよろしいでしょうか。
0:43:33	はい、中村です。考えて結構です。
0:43:38	配置。
0:43:40	承知いたしました下降側についても、すぐ身近以前になるかもしれませんがけれどもその辺の津浪数については、その表記についてはちょっと検討させていただきます。
0:43:53	ちょっと続けてですけども、これも大した話じゃないんですけど、3 補足のほうですかね、9-1-3 ページ、9-1-4 ページっていうところで、こういっぱいグラフがあって、C留置際とかっていうのが出てきたんですけども。
0:44:11	もう大分昔の話で、資料 1 がどこかかっていうのがちょっとわからないんで。
0:44:18	この
0:44:20	9139 様には入れることでもう多分難しいでしょうから、せめて 9-1-2 をちょっと工夫するなりしてし留置と再っていうのがどこかかっていうのぐらいの位置関係、
0:44:35	がわかればいいかなあと敷地の前面なのかどこか何かなんていうのがちょっと気になったんで、当然北海道側っていうのはわかりますけども。
0:44:45	それが 1 点で、あとちょっと終えてないんですけども、最後ですね私から 9-1-17 ページで、
0:44:55	数値シミュレーションを行ったっていうことでし留置と差異の結果が出てるんですけども。
0:45:03	これは
0:45:08	数値シミュレーションをする前の段階だから、例えば 9-1-3 とか 4 のグラフと比較したらいいのかわかんないんですけど。
0:45:17	歳の値っていうのは、
0:45:20	同じぐらいの値になっているんでしょうか。なんか、
0:45:27	その点はどうですかね。
0:45:31	概略のときはかなり小さくて、
0:45:36	数値シミュレーションをしたら、かなり大きくなっているとか、そういうところはないんですか。もしなってるんだったらね稼働してそうなるかっていうのをお答えできないかなということです。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:51	電源開発カンダでございます。
0:45:55	そうですね。
0:45:56	まず、中については、地点のですね示し方についてはちょっとどこに入れるかをかけて検討をしたいと思います。
0:46:06	本編資料のマッチングにですけど本編資料の 3-2-13 ページ。
0:46:15	わかったと。
0:46:19	ここをこういう感じで地点がわかるようなものを準備をするかなというそういうイメージであります。
0:46:28	はい。
0:46:29	二つ目のご指摘でありますけれども、概略検討につきましても、本編資料に記載をしております、まず 3-2-20。
0:46:43	サンノミヤ 30 ページをお願いいたします。
0:46:50	はい、3-2-30 ページが、各エリアで概略検討した結果でありまして、このときの再エリアの最大水位上昇量は 3.65、最大水位下降量はマイナス 2.28 と。
0:47:07	いうことであります。
0:47:12	どうしても補足のほうでまたご指摘の補足のですね 9-1-17 ページに火災汚水が記載だけ記載しておりますけれども、比較をしますと、
0:47:28	上昇が概略では 3.65 で確保詳細には 4.97 と。
0:47:35	加古川概略ではマイナス 2.28、詳細には 3.49 ということで、詳細のほうが少し大きくなっているというそういう傾向があります。ここについては一対一で比較できる手法ではないので、
0:47:53	相対的にですね、同じ方法で企画をした場合どうなるかということで概略検討をしているので一概にこの大小関係がどうかということについては、
0:48:05	説明したところでありますけれども、手法等が異なるというところが、
0:48:11	大きな要因であるというふうに考えております。
0:48:19	規制庁ナカムラですけど、
0:48:22	何でそういうことを聞いたかっていうとさつきや市留置のほうが、
0:48:28	おっきくなるってことを言われてたんですけど、それは
0:48:33	足し合わせのほうですけどね。ただ、詳細というか、数値シミュレーションをしたら、これは陸上のほうの結果ですけど、大分差が大きくなってるので。
0:48:48	どういうことかなということちょっと聞いたんですけども、説明については理解しました。
0:48:56	すいません。私からはひとまず以上です。
0:49:12	うんと規制庁サトウですけども、私は全然理解してないんですけども今のところ、9-1-3 ね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:18	以前の審査会合でも、うんとこのへ出してきて指摘して市有地の表記すよねって話をしてたんだけど、
0:49:28	それ、それが何なんでその詳細検討すると。
0:49:33	債のほうが大きくなるのかっていうところをもう1回説明をしてもらえますか、私は今の説明を納得できてないんですけど。
0:49:45	電源開発菅野でございます。
0:49:48	本編資料の概略検討について再度確認と、
0:49:52	説明をさせていただきますけれども、本編資料の3-2-27ページをお願いいたします。
0:50:04	以下、
0:50:06	3-2-27ページにこの概略検討ですね各地点、5地点カンダンことで、5エリアのフレキを検討するということで仮想的な崩壊後の堆積と、
0:50:21	堆積厚さを仮定をして検討するということにできていません、ここではですね各エリアの概算体積Eを採用しておりますけれども、この概算体積というこの出し方でありまして、例えば、
0:50:41	前欄で記載をしております、
0:50:46	主に内さんの本弁そのものに-8ページ。
0:50:53	お願いします。
0:50:56	ここはですね、
0:50:59	パパつかさとかお考え停止留置では資料1の④と⑤が連動するというような想定をしているわけで、それぞれ知りうちの④ですと、これ面積っていうのは、平面的に言い出した面積であります。
0:51:14	で、
0:51:16	長さですけれども、長さも大幅もですね、これも
0:51:21	経営などから読み取った長さということですね。長さについてはこれは高速道路調査会E-参考にですね、
0:51:33	長さ、違うな、平均幅は南部の位置にあるかということで設定をしておりますので、ここで言う概算体積っていうのはですね、ある意味、それぞれの崩壊、道路を
0:51:48	直方体のような形で想定をしているので実際にはかなり大きめの想定になると、そういう代物であります。3の27ページに戻っていただきまして、ここに記載をしている概算体積というのはそういう代物であるということです。
0:52:04	で、3-2-28ページに概略影響比較をするということなんですけれども、これは精緻にですね斜面崩壊の崩壊形状とかですね前進するスピード、そういうものを引き上げと検討しているわけではなくて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:20	この概算体積Eの堆積量がですね、それぞれのエリアの前面の半円のところに一律で分布して一律で上昇してくると、そういう場を考えた場合ということで検討しています。
0:52:38	そういうことです。一方なので、一方ですね、補足説明資料の
0:52:47	9-1の6ページ。
0:52:51	以降については、今のような概略ではなくて、実際に土塊が滑り落ちていった場合どうなるかということを検討しておりますので、
0:53:06	検討自体が少し異なるということと、そもそも発生する並みのですね、波長とかも変わってきますので、
0:53:15	この詳細検討と概略検討の大小関係というか、そういうところの比較という観点では数値の比較というのは正式には正確にはその感度というのは出てこないのかなというふうに考えています。
0:53:32	以上です。
0:53:35	サトウですけれども、そうすると、
0:53:38	ようすれば、この概略体積を市有地大間のほうは大きく見積もり過ぎていたということに尽きるんですかね。その波の波長云々かんぬんはちょっと置いといても、
0:53:51	最初の見積もりをしたときの外いわゆるその概算体積ですか皆さんの言葉を使うと概算体積で見積もったときの規模が大きすぎたんだという、そういう説明なんですかね。
0:54:09	電源開発カンダでございます。概算体積は、いずれの地点についても先ほど申し上げたような直方体でも大きめに見てますので、いずれの育成についても大きめに出るということがあります。
0:54:23	あとは実際の大間伝播してくるその会議ですね。清流値ですと津軽海峡真ん中をパート伝播してきたりというようなことと、あとはけえ波長ですね。
0:54:39	波長が大きめに出ると、先ほど申し上げて半円形のところに一律上げてくるか一律性、
0:54:45	改定地形が上昇するというような想定をしておりますので、実際よりもはげが長い波長が長いということになってきますので、そういうところで伝播の伝播の際の波のオオイさんとかそういうところの影響が敷地へダイレクトに聞いて、
0:55:03	いるのかなというところの差が出てきているというふうに考えています。
0:55:07	以上です。
0:55:09	規制庁サトウですけれども、前そしたらね、今のようなことをちゃんとその前回の介護全部巻いちよつと以前の会合になりますけれども以前の会合の指摘の答えとして、そういう記載が必要なんじゃないですかね。何でこう

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:25	こうなっただんですかって指摘されているのでそれに対する回答が必要だと思うんですけども、そういう記載ってあるんですかとか、
0:55:35	電源開発カンダでございます。現状ですねこの概略等を詳細のSCALEかの差についての記載はございませんので、ちょっと検討して記載させていただきたいと思います。
0:55:55	すみません、ちょっとまちくださいね。
0:57:00	ナガイでその工事カンダで今のでちょっと確認させてもらってよろしいですか。
0:57:06	ちょっと待ってくださいなので、一緒に聞くのはちょっと若干辛い思いません。わかりました。はい。
0:57:52	すいません規制庁サトウですけれどもそうするとねこの概略検討っていうのが本当にその必要なのっていうその疑問が出てくるわけなんですけども、その概略検討とそれから詳細検討っていう、その位置付けっていうのは、
0:58:08	どういう考え方でそういうふうやってるんですかね。
0:58:13	この二つちょっと何か疑問に感じるわけですよ。
0:58:17	はい、電源開発カンダでございます。
0:58:20	まずですね、陸上の斜面崩壊を議論させていただいた際、
0:58:27	その対象として今うちに
0:58:31	本編 2-3-2-29 を、
0:58:36	違うか 3 分の 27 ページ。
0:58:38	開いていただいて、そもそもですね、大間を対象として、陸上の斜面崩壊というところを検討する対象としては、この 5 エリアであろうということ
0:58:53	防災関係の 3 の資料等で示しておりました。
0:58:59	それで、
0:59:00	これらについてですね、どのエリアの影響が敷地への影響が最も大きいのかということは何らかの方法でスクリーニングをしないといけないということで、まずボリュームですね、ボリュームを外貨概算のボリューム
0:59:17	概算ボリューム概算体積ですね。概算体積を出した上で、もうSiri際のボリュームがワンオーダー大きいということと、近いということで採用を対象として詳細に検討していきますっていうことで説明させていただいたという経緯があります。
0:59:36	で、本当にその差異がどうかという 9 が出ましたので、
0:59:40	すべてに対して詳細をやるということではなくて、その前段としてですね、概略で検討して影響がそれぞれの相対的な影響でスクリーニングアウトするということで、この会社から逆、
0:59:56	影響比較という資料を当時御説明をさせていただいたということです。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:02	こういう検討しておりますので、概略検討については我々すべてのエリアについて敷地へのあけデータを有しているという状況にありましたので、まずはこの概略検討で用いた開けとっ線形足し合わせをして、
1:00:19	差異がトップになるかどうかということを確認をしたという順番で検討していましたが、先ほど来申し上げているように概略検討と詳細検討ではですね、津浪の発生系で全く違いますので、
1:00:33	ひっくり返る可能性は指定できないですけれども、そういうことはわかった上で概略検討がはっきりをまず有しているということでまずそこから検討を始めたということです。そうすると、再エリア以外のエリアが、
1:00:51	一番になったということで、これは概略検討では済まないということで詳細検討、そのエリアを対象に詳細検討を実施をして、
1:01:00	検討を進めたというのが、検討の流れであります。以上です。
1:01:05	すいませんタカオカですけど、ちょっと補足させていただきます。オーストリアがカンダ申したような形なんですけれども、
1:01:13	あくまで3-2の本店さんの30ページ。
1:01:18	ご覧いただきたいんですけど。
1:01:21	ここで加力検討の結果の抜粋が出てるわけなんですけれども、通常であれば、例えば海域の活断層等であれば、簡易予測式っていうのはございますのでそちらでスクリーニングアウトしてナンバーワンを決める。
1:01:38	ことになるよう交渉中どころかと思えます。
1:01:40	それでこの斜面崩壊の津波に対してそういう適切な知識がなかったものでこと言って二相流等Kinematicで詳細に固型浅部をやるのも、というのがあったので、それにかわるものということで、
1:01:55	カンダ化構想ご説明したように拘束道路境界の考え方でボリュームを出して初期条件として今後大きなポイントなんですけれども。
1:02:06	半円形のエリアを決めて半円形のエリアが海水を持ち上げると。そういうかなりざっくりとした検討を行っている。それはおそらく
1:02:21	我々のビジョンの考え方かと思えます。それで今ご覧いただいている3-2-30ページ、これをこの結果を見て、最後ナンバーワンということで、
1:02:33	単独の斜面崩壊は計算したところですよ。
1:02:37	それで線形足し合わせで地震性のものと、この推移を見て線形足し合わせしたら、最後はナンバーワンになるんだろうなと思ったら、ちょっと違反して、資料1が大きくなってしまったっていうところですので、
1:02:52	単にボリュームだけではなくて、
1:02:56	安全系の改定。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:58	もう持ち上げたという。そそれによる影響が出ているのかなというふうに考えております。
1:03:05	即以上です。
1:03:12	ちょっとサトウですけども、事実関係としては今一応お聞きはしましたけども、
1:03:18	必要があればちょっと審査会合で議論をさせていただきたいというふうに思います。
1:03:29	電源開発カンダでございますが、承知いたしました。
1:03:34	ナガイさんすいません長お願いします。
1:03:42	はい、永井です。先ほど過去損失はある程度持った方が私の聞きたいことを言ってくれたのかもしれないんですけど、エース当初きついただって可能水位伝播計算は、
1:03:53	詳細部二相流もKinematicもこの会社も全部同じということによろしいんですか。
1:04:08	原価初カンダでございます。すいません。大変申しわけもう1回
1:04:14	ご質問の趣旨もう1回お願いしたいんですけども。それだけがそれぞれ初期水位の計算方法が違いますけれども、そこから敷地までづい津波を原発での伝播計算は、
1:04:29	全部センス議論の席でやってるという理解でよろしいですかということです。
1:04:34	はい、電源開発カンダでございます。ナガイさん。今の御指摘の通りであります。同じです。
1:04:40	わかりましたそれであれば先ほど説明がある程度仮定が行くので確認させてもらったところです。
1:04:47	以上です。
1:05:27	すみません、規制庁のイワタですけども本店のですね先ほどちょっと中村からコメントがあった4-5ページ4-6ページのところの関係なんですけど、
1:05:36	この4-5ページのところの上ですね。
1:05:40	四角の枠の中で防波防波堤等ありって書いてあるじゃないですか。
1:05:45	この防波堤等ありっていうのは
1:05:48	右側下の右側の図のとの関係では困難か意味があるんですか。
1:05:58	電源開発カンダでございます。
1:06:01	今は当皆さんおっしゃったのは、擾乱
1:06:08	2行目のところの防波堤と合ってることでしょうか。
1:06:12	すみません、4-5ページの一番上の四角が込みの中ですね、防波堤ありと陸上斜面の防波堤ありっていう。それぞれの波源を足したということの

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:23	皆だけですわね。
1:06:27	はい。その通りでありますそうするとこの辺の中ではその 5.79 メーターっていうのが一番その組み合わせでは 39.6 秒のところに出てくるんですけども、先ほど多分質問はですね、次のページに行くと 39.6 秒だと 6.59 になってるんじゃないですか。
1:06:44	この関連性が多分良くわかんなかったんじゃないかなと思うんですけども、
1:06:48	はい。
1:06:49	4-5 ページではあわせ 4-6 ページは先ほど申し上げた通り、縁部のシミュレーションの波とですね陸上の斜面崩壊による波、これを同じシミュレーションの中で伝播をさせて、
1:07:07	陸上ええと敷地に伝播させるということをやります。ただし、地震が起こって斜面の崩壊が発生するまで時間が時間差がありますので、この時間差として考えるべき、時間として、
1:07:23	何が一番影響が大きいかということを探しているのは 4-5 ページになります。
1:07:30	ですんで、4-5 ページは等の派遣はですね、上段が開けば日本回答MIに想定される地震による津波の単独のハケで下段はちょっと中断は陸上の斜面崩壊に伴う津波の単独の葉系ではあるんですけども、
1:07:51	社名表記が発生する可能性がある時間に幅がありますので、その分ずらしているということになります。
1:07:58	それで、上段と中段の波を単純に足し合わせて水が一番大きくなる時間が大きくなるのは 5.79 であるということを確認をしたわけで、この 5.79 という数字が出る時間差としては 39.6 秒と。
1:08:16	いうことであります。ですのでこの 39.6 秒というのは、4-6 ページのシミュレーション同一波動場で行うシミュレーションに与える時間差、
1:08:27	預条件を求めていると、そういうことあります。以上です。
1:08:32	すいませんタカオカです。ちょっと丁寧に説明したか言うようにちょっとわかりづらくなったと思うんで、ちょっと簡潔にお話ししますと、4-5 ページの 5.79m と 4-6 ページの 6.9m なんて違うのかと、端的に言うとそういうところかと思えます。
1:08:50	それを 4-5 ページは、
1:08:54	左側が二つあるんですけども、日本海等縁部等際の地すべり、これをそれぞれ単独で計算して、その葉系が右側の下めに駄目に合っってそう単純に、線形足し合わせしたものでございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:11	それから4-6ページについては39.6秒という時間を4-5ページで見つけてますので、4-6ページについては、二つの占める昭和39.6秒ずらして、
1:09:27	日本回頭円分を先に0秒で計算して陸上の斜面崩壊の計算のスタートも39.6秒を凝らして、
1:09:36	両者
1:09:38	その時間差がある津波の伝播をシミュレーションで評価した結果となります。はい。以上です。
1:09:52	すいません規制庁のイワタですもうちょっと丁寧に説明して欲しいのはですね。すいません理解が悪くて、その結果が何で違うのかわからないんですけども、
1:10:02	すみませんナガイから申し上げますが、これ、費用は一定実費ぶつ切りになってるんですよ。
1:10:08	だからわからないのであって、何で4-5と4-6が繋がっているのかって説明が全く資料じゃないんですよ。
1:10:15	だから、誰が見てもわかんなくなっちゃうんですよ、もうちょっと資料の繋がりを定年作ってもらえますか。
1:10:31	はい。人海使うものでございます。
1:10:33	わかり保守性は理解はいたしました。
1:10:40	そうですね、4-5から4-6ページに繋がるこの考え方について、
1:10:46	少し補足的な説明をですね、ちょっと考えてみたいと思います。以上です。
1:10:54	すみません、タカオカです。検討手順フローみたいなものがあつたらわかりやすいという御趣旨かと思しますので、計算のステップがわかるように工夫いたします。
1:11:28	すいません規制庁の岩田ですじゃあお願いします5.79と6.5億で結構な差がありますよね、下段でこんな差が出てきちゃうのかというのと、あとA4の5ページのところにも先ほど申し上げたように、簿
1:11:42	防波堤等ありという何かわけが名前が書いてあるので、この一帯5.79というのはどこの地点の高さなのかというのもよくわからないんですよ、これ下の図ではですね、ごめんなさい、5-4-4-6では敷地における最大水量って書いてあるんですけども。
1:11:59	5.79というのが1点なんだっていうのもちょっと
1:12:04	肥料から読み取れないので、すみませんその辺りを皆さんの考えをですね、もう少し丁寧に書いていただいて、どうしたら、今度は差が出てきちゃって、米国この差というのはですね、4-5でやったその39.6秒を見ておけば本当に大丈夫なのかというもの。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:20	それから、右側にちょっとちっちゃくてよく見えないんですけどもいろいろ書いていただいているみたいなんですけれども、これはあまり関係なさそうなので、もし要らないものがあればですね何かもうちょっと省いてもいいんじゃないかという気がしましたので、よろしくお願いします。
1:12:38	はい。5 隻理解をいたしました。
1:12:44	すみません、この 4-5 ページにどこをはっきりかということは明記されていないというのは、ご指摘の通りであるんですけども、この 4-3 ページの組み合わせと思うのですね一番下のポチですね、各津波の取水ロススクリーン室前面における水位時刻歴はつきりを線形に足し合わせると、
1:13:04	ということで、ちょっとこの辺についてもですね認かがわかるようにしたいと思います。ですので、4-5 に記載をしておりますそれぞれの葉系は、取水ロススクリーン室前面の単独のはっきりということになります。
1:13:20	ちょっと今補足で今ネットの質問に関係するところということで回答いたしましたけれども、その辺もわかるような形でちょっと丁寧に
1:13:30	修正をちょっと考えたいと思います。
1:13:36	すみませんタカオカです。ちょっと補足いたします。この場所は 1000 方法についても組み合わせ時間差は設定して、
1:13:44	国民はその計算の方法についても、この先行地点さんと同じやり方をしてございますので、ちょっとどういう示し方がいいか考えて工夫したいと思います。
1:13:55	それから今、イワタさんからトマトこの成果っていうご質問あったので、ちょっと評価地点をカンダ君。
1:14:03	念のため、お話ししておいてくれますか。
1:14:10	づけ。
1:14:14	はい、電源開発カンダでございます。
1:14:18	評価そういう抽出位置については、
1:14:23	一方ですね。
1:14:25	2-1-4 ページの表で概要をします。
1:14:32	はい。
1:14:34	余暇そういう抽出位置としては、
1:14:40	通常の
1:14:42	遡上解析におきましては上昇側、左の図ということで、取水ロススクリーン室前面と 12 年版の理事であって、
1:14:51	ということで花崗岩については施設ごとにすべて目ということであります。今回の足し合わせについては、補足説明資料でも説明をいたしました通り、取水ロス

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	クリーン室前面というふうにしないとタイミングがずれたりですね層状がしてかたっぽが遡上してこないと。
1:15:10	ようなことがありますので、今回の／幸せの地点としては取水口スクリーン室前面ということにさせていただきます。以上です。
1:15:20	はい規制庁によってですね。そうすると、その4-6の6.59というのは、取水口のスクリーン室前面ではないってということなんですよ。
1:15:35	要望の
1:15:36	4-6 ページのですねこの6.59という数字は敷地における最大水位上昇量と書いてあるので右下にちっちゃくてですねそれぞれの各地点のですね、あの評価高さが書いてあるんですけど、これはと何かちょっとちっちゃいんですが、
1:15:51	なんか5.何メートルにしか見えないんですけども、要はこれ違う場所がチャンピオンになってるってということなんではないんですか。
1:15:58	ご指摘の通りであります。6.59というのは、今まさに申し上げました上昇側の評価水位抽出位置のうち、最高値を示す地点ということでそこから線を引っ張っております。
1:16:13	右側の4地点ですけども小さくて申し訳ありません。港湾の防波堤の間から敷地に向かって1防波堤開口部に港湾中央さんへ取水口をかけてもね。
1:16:29	よう取水口スクリーン室前面というこの4点は到底点としてですね、すべての結果について、同じところで車検を示したほうがわかりやすいだろうと比較しやすいだろうということで、すべてのまとめの資料の整理を持ち点ということで固定をしているものでありますので、
1:16:48	6.59とこの発見を再構築っていうのは少し違います6.59は敷地に遡上スタートの最高値ということになりますので、この白金地点よりも水位が少し高くなっていると、そういう状況かと理解しております。以上です。
1:17:02	すみません、タカオカです。ちょっと補足させていただきます。なぜそのようにしているかという、カンダが御説明したように葉系がある。上に①に算出して、位置があると思うんですけど、この位置ですと港湾内ですので、水位が上昇しても加工しても、
1:17:20	経営が示せるわけですから伊ワタさんご質問の6.59mの陸上に遡上したピークが出るところはKというのは、その一緒のつてにしかならないんで、なかなかはけで示せないんで、このようにお示しさせていただいております。
1:17:39	すみません、規制庁の予定です。何となくわかってるのわからないようなんですけど先ほど2.1-4ページで御説明いただいたようにですね、取水口のスクリーン室という

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:47	ところと後は敷地前面のところですね、こういったところで評価をなさるのであれば、むしろ
1:17:55	この組み合わせというのが取水口前面だけで本当に
1:17:59	チャンピオンになるのかどうかというのはちょっと疑問なんですが、
1:18:02	結果として、結局もっと高い高く敷地前面で高く出るところがあるわけですね。
1:18:09	そこの関係っていうのはどういうふうに見ればいいんでしょうか。
1:18:17	電源開発カンダでございます。
1:18:19	船型の足し合わせの目的は、同一波動場で解く時間差を求めるということを目的にしておりますので、それぞれの背景が確実に足し合わせる地点を選ばないといけないと。
1:18:36	いうことで補足説明資料の旧の
1:18:42	2章ですね、昨日の2章で飛ばせ合わせるせいぜいが決めないといけませんので、その候補として
1:18:53	9-2-2 ページですね、その候補として、取水口スクリーン室前面と数字が高くなるだろうという候補の地点として日本海等縁部に想定される地震に伴う津波の最大水位上昇量発生地点と、
1:19:09	もう片っぱの最大水位へと陸上の斜面崩壊は津波による最大水位上昇量発生地点、この2地点を3.3地点を限定って検討対象として、実際に葉系をそれぞれ足し合わせる形で検討してみた。
1:19:26	そうしますと、足し合わせるところ足し合わせが可能な地点としては取水口スクリーン室前面だけだったというか、確認をしておりますので、
1:19:36	時間差を求める地点としては、取水口スクリーン室前面として検討を進めていくということで、同じ質問を前回いただいておりますのでその回答として、この補足の9-2を準備したと。そういう位置付けであります。
1:19:53	以上です。
1:19:54	はい、わかりました。いずれにしても保険の中でもですね大体ねやはり流れがわからないとこれ
1:20:00	あっち行ったりこっち行ったりしなければいけないので、その辺りは少し整理をしていただけますか、あんまりこれ以上この話だけやってもしょうがないので以上にしますが、はい。
1:20:13	電源が使うものでございます。これまでの目的の御趣旨を踏まえて考えてみたいと思います。以上です。
1:20:24	はい。あとすみませんもうちょっと細かいところで5.1-11 ページなんですが、今回貯留堰のですね、天端高さを下回る継続時間の評価というのをやっつい

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ただいですね、登場するそのポンプがですね、RSWPだけがあるんですがこれ条件っていうのはどういうことになってるか例えば循環水ポンプ
1:20:44	止まったままなのか動いたものなのかとかですね、その辺りてどっかに書いてあるんですけど。
1:20:52	電源開発カンダでございます。ここではですねそこまで細かな算定しておりません。ポンプの稼働というところは、検討していないということであります。
1:21:06	停めてもらうとか、あと止まっている状況を検討しています。運転運営の有無等については、耐津波設計のほうで先行さんも同じように、細かな設定の違いEの影響を確認されておりますので、
1:21:22	そちらで確認するということになるかなというふうに考えております。以上です。
1:21:28	皆さんタカオカがですね、そういったします。ちょっとその前に言いたいことはですね、今回海水聴取漂流量というものに対して、そのどのポンプに対して見ておけばいいのかとこれかなり前提条件の気がするんですよ。
1:21:43	これ循環水ポンプって桁違いにもっとでかいじゃないですか。そうするとそっちが止まっていないと多分この今の説明で説明を成立しないので、その前提条件をどっかでやっぱり書いておかないとですね、これが妥当なのか妥当じゃないのかというのはちょっとわからないので、そこを変えてくださいということなんですけどね。
1:22:03	はい、電源開発カンダでございます。ご承知理解いたしましたので、追記をしたいと思います。
1:22:27	ちょっとサトウですけども、私も細かいことではないです。
1:22:31	この1-16。
1:22:33	午後1-16本編資料の
1:22:36	ここに
1:22:37	敷地周辺の最後の
1:22:39	既往津波高と津浪堆積物の分布高さの比較ってあるじゃないですか。
1:22:45	よねこれもやっぱりちょっとちっちゃいのでこの映画ですね、最後これを比較しているんだから大事なことだと思うんですけども、図面を少し大きくしていただくとかちょっと記載の適正化をしていただくとかですね、見やすさの観点で
1:23:01	工夫をお願いしたいっていうのが一つですね、すみません、右側の表もちょっとちっちゃいんで。
1:23:06	工夫をお願いしたいんですだけです。
1:23:11	配電浅野でございます場合はちょっと考えてみたいと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:33	すみませんリモートで入っているミツイさんとナガイさんで何か最後コメントありますかね、内殻と最後大きなコメントさせていただきますけどもその前に何か確認事項があれば発言をお願いします。
1:23:55	すみませんミツイは特にはないです。
1:23:59	了解です。
1:24:00	ナガイさんいますか。
1:24:02	1点あります。8 これ何もあったからやらないとか見ると多分印象を受けるんじゃないかというので、なかなか対応してたほうがいいかなと思うところなんですけれども、例えば5-1-3 ページ、本編の5-1-3 ページの資料を見た場合に、
1:24:21	あってもいいですよ。明らかにかんがみた場合に、
1:24:25	組み合わせ動く。59 って本当に大丈夫なんていう事象与えかねないかなというところがあると思います。例えば感知にですね。
1:24:35	にくく、表3面の4.97と海域活断層に事後他社これこっちがでかいんじゃないかという。
1:24:43	印象を与える可能性が非常に高いので、やはりその辺りの説明をもうちょっと組み合わせの検討とか提言西多摩いいかなというのは印象として受けます。
1:24:53	私からです。
1:24:58	はい。私からも何かあったのも一つとね。
1:25:03	ここだったかなあ、すみません。時間差を時間ずらしてた、何ページでもいいですよ。いやさっきの4-5のところ、
1:25:13	真ん中の右側の真ん中のわけなんですけども、おこつ時間ちよつとずつずらして立ち合わせるっていう時に、これどれぐらいの間隔でこれ時間ずらしてんですか。
1:25:27	電源開発菅野でございます。
1:25:30	まず二段階やってまして、重量刻みでずらせていっておりますので、随時しているのはその10秒刻みの応能Aパターンを通知しておりますけれども、ここ経営と大体ピークがそう重要でずらしたときにピークが見えているし、
1:25:49	周辺ありますので、ここについてはΔ層と本来ですと0.2秒相当で°ピッチで売らせておりますので、計算ピッチでいうと一番細かなところまで確認をしているという状況になります。
1:26:05	以上です。すみませんサトウソースとこうピークのところは0.2秒でその他、大体1秒刻みでずらせていってるといってそういうことですね。
1:26:16	電源開発カンダでございます。はい、そういうことであります。
1:26:20	はい、了解しました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:27	すいませんイワタですけども今回のですね資料なんですけどその全体的なその構成なんですけどこれまでの会合で説明していただいたことを肅々と今、
1:26:39	書いてあるんだと思うんですがローマ数字のところの 9 ページとか 10 ページの全体の長めのところをこの間も節コメントしたと思うんですが、
1:26:51	正直申し上げます
1:26:53	最後にもう 1 回の今日の説明にもありましたけど行政機関による既往比較評価との比較みたいなのが出てくるんですが、これはよく見ると、2 ポツの中でもですね、行政機関の比較が出てきたりして、
1:27:06	ずっとですね。
1:27:09	9 ページの図と、
1:27:11	目次の構成というのが何か少し違うんじゃないかという気がするんですがそのあたりは、まずはどのようにお考えですか。
1:27:23	はい、電源開発カンダでございます。
1:27:30	2 章、もう地震による津波の中に、行政機関による想定行政機関が想定する波源モデルによる津波というものを記載しておりますけれども、9 ページで言うと、これに該当するところということで我々考えているのは、
1:27:48	どういったらいいかな。
1:27:52	左中段少し下左端から真ん中辺りまでずっと長くですね、左右の方向に行政機関が想定する波源にも波源モデルによる検討
1:28:05	これが 2 の 6 章に該当するというふうに考えています。
1:28:10	号線が 2 号の 2-2 章に行政機関による既往津波との比較というのがありますけれども、これガイドの記載等を 2 も踏まえまして最後ですね、確保しないとイケないと。
1:28:26	ということで、9 ページのまず 19 ページのフローでいきますと、上段右側 2 列目といたしますか、の点線の黄色で発生してるんですけども、この行政機関の津波評価上回っていることを確認すると。
1:28:42	いう構成にしておりますので、我々としては、目次とこのローマ数字の 9 ページ。
1:28:50	にはそごがないのかなというふうに考えているところです。以上です。
1:28:55	はい、規制庁のイワタでそうするとですよ。本来は行政機関が想定する云々かんぬんっていうのは最終的な結果、つまり、今回の目次にもありますけれども、基準津波の策定の際にですね、どういう値を入れるのかということに、本来はなるはずなんですよね。
1:29:11	ただそのときに、これまでの説明の中ではですね当然これはマツスエ地震による津波に対して同じような評価をやっているんで行政機関というのがどうい

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ふうに影響してくるんですかということで、今のに9ページのような位置付けでやっていただいた上で、
1:29:28	さらに組み合わせまでやっていただいて最後に比較をするということになってるところやっぱりちょっと前後関係がですね、あまり美しくないような気がするんですけれども、
1:29:36	そこはどうですかね。
1:29:48	はい。
1:29:49	電源開発カンダでございます。
1:29:52	当初はですね内閣府等が出ていない。時点では今おっしゃったような構成というふうにしておったんですけれども、内閣府の影響というのがその他で何か途中で検討中で
1:30:08	発表されて、その影響を確認していく中でですね、ミツイの影響麻酔いいという観点では影響が大きいというようなこともありますし、我々のプレート間の検討との比較と。
1:30:23	というような観点での考察っていうのも必要になってきたという経緯がありますので、地震性の津波の中で、まず登場させて影響を確定させてという構成にしたというようなことを何ですけれども。
1:30:43	美しくないというご指摘を踏まえてちょっと段どうしたらいいかというところはちょっと悩ましいので、
1:30:51	ちょっと
1:30:56	まさに相談を対応は考えたいと思います。
1:31:00	ここですけど、ちょっと補足させていただきます。
1:31:06	それ以降ですね、伊ワタさん、それからカンダが申したような構成にしたんですけども。
1:31:13	内閣出てきて、基本波源モデル①から⑥と同じような位置付けとして扱うしかも資料の構成上、後ろから前に戻ったりする形はあまりよろしくないなんてそんな話もございましたので、
1:31:31	できるだけ
1:31:33	以上報告っていった順番に御説明できるようにってということで、落ち着いた形が今の構成という形になってございます。
1:31:43	それで、ご指摘のローマ数字の7ページのフローですよね。で判断をしたように、
1:31:51	9ページ、失礼しました。9ページ。
1:31:55	ですけれど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:01	構成自体は目次と割ってるんですけど、合っていると我々思ってるんですけどちょっとわかりにくいところは目次とあわせた症や
1:32:10	説明の番号、そういったものをいろいろとかですね。
1:32:13	少しわかりやすくなるよう工夫はしたいと思います。
1:32:18	今ご指摘いただいたイワタさんから御指摘いただいた全体の構成についても、
1:32:25	ちょっと考えておりますけど、これが今現在、この形におつ形が、
1:32:32	以上来る観点からいうと、順番に流れるかなと思っているところでございます。
1:32:40	はい、少し工夫していただきたいと申し上げたのはですね、これの上から見ていくと既往津波の検討から地震による津波、地震以外の要因による津波、あとは組み合わせっていうふうにあるんですけども、この
1:32:54	届いている線がですよ。
1:32:56	例えば、行政機関の
1:32:58	何点かのモデルによる検討という中ほど下の線はですね、防波堤の影響検討の手前に落ちてるわけですね。
1:33:08	ただ一方組み合わせ別途やっていてそれが何か一番下にいきなり内閣っていうものが出てきたりして、これそもそもやっぱり地震による津波と地震以外の津波やって、
1:33:19	なにをその組み合わせなければいけないんですよという評価をした上で組み合わせ、その結果、基準津波を選定するっていう流れになってるはずなんですけど、この絵はね、それを表してないんじゃないかという気がするんですね。なので今の図を工夫してくださいと言ったのは、一番下から出ている線というのはですね確かに両方に
1:33:37	くっついていて、基準津波に繋がっているようには見えるんですけどこれ図の形を変えるとかですね。
1:33:43	左と何となく、これだけ見てもよくわからなくてなぜか組み合わせの中から突然また行政機関が
1:33:52	済みのように復活するって何かやっぱり変ですよ。なのでちょっとここはもう1回社内で見極めて確認をしていただいでですね、目次
1:34:01	に大きく変えるということであることではないんですけど、やっぱり
1:34:05	評価の手順というのはこれはもう決まってるわけで、
1:34:09	やってきたことも多分同じだと思うんですね、少し工夫をしてみてください。そこはお願いします。
1:34:19	はい、電源開発管内でございます。今ご説明いただいた代替案のイメージをクリアになりますので、
1:34:27	その方向で検討したいと思います。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:33	サトウですけれども、私からも二つお願いします。
1:34:37	うんと2-3 のですね、1-6 か本編資料、
1:34:44	これ前もちょっとお話ししたかもしれませんがでも会合でお話ししたかもしれませんがでも、この三陸沖から根室沖のプレート間地震に伴う津波ってもうこれフローチャートあるんですけども。
1:34:56	次のページねで3-3-1-7 ってこれこの消耗を3床。
1:35:04	根室沖のプレート間地震に伴う津波の評価になるんだけど。
1:35:08	冒頭にこの計算のですね。リテールのパラメーターの設定の仕方みたいなものが出てくるんだけども、
1:35:16	これそもそもその波源設定をまずはどう考えますか、っていうところから多分
1:35:22	資料始まるのかなと、議論始まるのかなと思うんですね。
1:35:27	なので少し資料構成を見直していただいて、まずはその波源設定としてどこをどういうふうに考えますかってのがあるんじゃないかなと思うんですよ。
1:35:38	いきなりこのNEAのパラメーターをどう決めましたっていうこのフローチャートが出てくるところに物すごく違和感があるわけ。
1:35:46	それから、2-3-1-30 で、
1:35:50	これも前言ったかもしれませんがでも、この波源選ぶときに目玉二つモデル一つモデルということで検討した結果、結局はその十勝沖から根室凹地沖を選びますっていう話に戻したわけだけでも、
1:36:08	そこの説明の仕方っていうのはちょっと十分で気をつける必要があって、
1:36:12	要するにそのまあ、いいとこ取りして何か自分たち有利な評価もしかとしたんじゃないかって言われる可能性がなきにしもあらずなんでこの仕方っていうのは非常に気をつけないといけないかなというふうに思っています。
1:36:27	もう一つ言うところの冒頭の
1:36:30	2-3-1-6 っていうこのフローチャートあるんだけども、このフローチャートに
1:36:39	芽室失礼岩手県沖から違うな、十勝沖から
1:36:45	択捉沖までのその波源っていうのはこれは出てこないのかなっていう、ここの俎上には上がらないのかなっていう気はするんだけど。
1:36:54	このマーク俎上に上げて落とすっていうやり方もあり得るのかなと思うんですけども。
1:37:00	その辺をちょっともう1回ちょっと社内で考えていただきたいというふうに思ってるんですけども、どうですか。
1:37:11	はい。電源開発菅野でございます。マンス
1:37:15	2-3-1-7 以降ですね、ここが前にあるのはも不自然ではというコメントいただきましたので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:25	ちょっと場所については考えたいと思います。
1:37:29	それと、2-3-1-30 ページですね、前回の
1:37:36	とヒアリングでも同じコメントをいただきます。ご指摘をいただきまして、現実今現在いいとこ取りにならないような表現。
1:37:45	どこを評価地点とするかというところについて、社内で検討して修正を進めているところですので、そういうふうにならないような説明が可能な修正を今考えているところです。
1:37:58	で、2-3-1-6 ページに今ご指摘の十勝根室から択捉これ記載すべきではないかという御指摘ではあるんですけども、
1:38:11	そもそもここに2-3-16 ページに載せているものというのは基準波源モデルとしてどれを考えましたという一応その仕上がりの形を記載をしておりますので、本編の中で十勝根室から択捉は
1:38:30	想定津波想定を波源域としては考えないとイコール基準津波としては考えないと、影響軽減提供評価用として考えると、いう位置付けにしているの、ちょっとここに出てくると、ナガイとそごが生じてしまうということで、
1:38:49	しております。できているPMとしてですねちょっと小さくて恐縮ですけども、基準波源モデル位置、左下のですね、基準波源モデル位置の右肩に※1をつけまして、
1:39:04	その海域については影響が小さいということを確認をしたということで、
1:39:11	そこが読めるような形で、本本邦本文中が本編ちゅうのとリンクするような形で今整理をさせていただいているところです。以上です。
1:39:25	はい、わかりました。ちょっともう一つ、えっとね、もう一つ別の質問しますそうすると
1:39:30	これ、2-3-1-6 で一番左側ね青森県北部からこの日本海溝と千島海溝の当行のH市日本海溝と千島海溝の島弧会合で前はあるんだけど、いわゆるこの二つ目玉のやつなんだけど。
1:39:49	これ結局は滑り域をつなげて基準波源モデル①にするんだけども、
1:39:55	十勝沖から根室沖の二つ目玉のやつはこれをつけ力をつなげては検討してないと思うんだけども、それはやって、
1:40:05	いや意味はなかったんですか、そのやらなくてもよかったですか。
1:40:11	やる必要がなかったんですか。
1:40:17	電源開発カンダでございます。すいません。確認ですけど、十勝沖から根室昨日この真ん中の
1:40:26	背景領域、に対して、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:32	滑り域をくつつけるという検討をすとしていないというその御指摘でしょうか。そうそう表には出さなくてもその下の化しなかったのか、する必要がなかったのか。
1:40:42	はい、えっとですね。
1:40:44	ここ十勝沖根室沖から択捉島沖に関する各市パラスタについては、
1:40:53	補足のほうに準備をさせていただいております、
1:40:59	少々お待ちください。
1:41:01	オカケ
1:41:38	失礼しました本編ですねー3-1の
1:41:43	約85
1:41:48	からですね、このほとんどなんかで187ページに、
1:41:54	ベースとなるケースは右左上、この通す滑り域を各海域に二つということ考えているわけですけども、
1:42:07	十勝沖根室沖の滑り超滑り域を結構細かくですね、移動させることによって、結果、
1:42:17	仕事ターン択捉のものをすべて利益ともくつつくようなケースも一応検討ケースとしては入れております。
1:42:26	以上です。
1:42:28	はいわかりましたエコーで確認できました。
1:42:33	あと最後ですけども、やっぱり内閣府のモデルと比較した、何ページだったかな。
1:42:51	E-3-1の
1:42:55	3-1の
1:43:02	すみません、2-3-1-137。
1:43:06	これでね、ちょっと御社の考え方を明確にして書いて欲しいんだけど、どこがどうであれば内閣府モデルよりも上回っているといえるのかと。
1:43:17	いうところを明確に書いて欲しい。
1:43:20	これ基準波源モデル1から6までを比べているんだけど応用すれば御社として大事なものは、大間スペシャルって言っている基準波源モデル毎6なんだと思うんだよね。
1:43:35	それと比較してどうなのかと。
1:43:38	あともう一つは、敷地周辺少し拡大図を出してもらいましたけども、
1:43:45	これで
1:43:47	御社のモデルは内閣よりも上回ってる或いは等々って本当にいえるのかと御社大間と今等々と言ってるよね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:54	でもこれ拡大図で見ると、負けてるわけよね、結局、
1:43:58	その評価っていうのはやっぱり概ね同等と評価するのか否か。
1:44:03	ちょっとそこだけを確認させてください。
1:44:11	電源開発カンダでございます。ご指摘の通り大間におきましては、守れるという ことで 56 がありますけれども、そのうちの登録が上昇側のCAMP
1:44:26	ということになりますので、この内閣府との比較という観点での妥当性を示す という意味では 6 と一番大きいものというところの比較になりますので、⑥と比 較をすれば、買っていると。
1:44:40	勝てない部分については、特徴について分析をしているということですので、 大間の周辺拡大図につきましては、どちらが大きいかという観点でいくと内閣 府の方が大きいと。
1:44:57	ということになるというふうに思っておりますのでちょっとこの表現は最高中では ありますけれども、概ね等々程度大間崎を回り込んだ。普通、
1:45:10	ということですねという、ここんところの左下の図で言うと大間崎よりも、左側と いうことで、概ね同等程度という表現でいいのかなと思っておりますけれども、 ただ、
1:45:25	どちらが大きいかという観点で見た場合、内閣府モデルのほうが相対的に大 きいというところは認めておりますし、計算結果もそうなっておりますので、この ような記載にしているところです。
1:45:39	だからさっきましたように、ご質問どこどこをフォーカスして、どこがどうだから、
1:45:46	御社としてはこれでいいのか。
1:45:49	悪いのかっていうそこをちゃんと明確に書いて欲しいんですよこれね。
1:45:53	一番大事なところだと思ってるんですけど私の認識としては、
1:45:58	それからあとこれ、この前もちょっとタカオカさんから買った回答はいただいた んですけども、これは補足説明資料とか 2 年回せるものもあると思うんです よ。
1:46:09	今回の資料の位置付けはもう、基準津波まで全部作ってもう意識取りまとめ て、
1:46:17	最後の会合にしたいと、御社をもってこれ資料をつくってこられてるんであるか ら、
1:46:23	もしそうであれば、今、
1:46:26	我々も申し上げてるように、
1:46:29	資料構成であるとかね、そういうところは一応まああの会合に上げるからには それなりの位置を整えて欲しいっていうそういう意味で今申し上げてるんです けどね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:40	だからこれちょっとやっぱりこの辺のコメント回答としてねもしコメント回答として今回審査をやりたいということであれば私はこれでいいと思ってるんだけど、いや、基準津波としても取りまとめる最後の資料ですと、最後の会合にしたいですという意図で、
1:46:56	資料作ってこられてるんであればね、そこはちゃんと
1:47:02	補足説明資料なりね、添付資料なりね、補足の資料なりとかねそこを少しふるい分けをしていただいて、
1:47:10	本編に残すべき資料は何かってところそういうのを少し社内で検討していただいて整理をしていただきたいというふうに思ってますが、いかがですか。
1:47:22	電源開発タカオカです。最後のサトウさんに言われた点につきましては我々も最後基準津波策定まで考えておりますので、拝承してちょっと考えさせていただきたいと思います。資料構成を考えます。先ほどの伊ワタさんの
1:47:40	ローマ数字のページのフローとあわせて、
1:47:42	考えさせていただきます。それから一つ目のサトウさんの御質問で、
1:47:48	2-3-1 ページの 137 ページで、
1:47:53	覚書もあり込んで内閣府が勝ってるかどうかというところについても、敷地での津波水位を最後に評価して対応がだけプレート間だけで考えた場合には上昇側も下降側も内閣深まってるってことは、
1:48:10	敷地での評価のところ明記してございますので、それとリンクするような形で再整理したいと思います。以上です。
1:48:21	はい、よろしくをお願いします。
1:48:26	はい、伊藤伊ワタですけれども、今のお話、非常に重要なところなのでよく考えていただきたいんですが、やっぱり先ほど来ちょっと私こだわってるんですね、最後のところで 5.2 のところですかね、比較が出てきてるんですけども、ここはやっぱり、そういう観点ではですよ。
1:48:42	本来その地震による津波で何と何と何を評価して、それといわゆる行政機関のものが直接的に比較をするということをしなきゃいけないんじゃないかと思ってるんですね、今の最後に、基準津波との比較をしてるんですけどもページと 5、5.2. 2-3 ですかね。
1:49:00	これは多分見方としてはあんまり意味がなくてですよ。本来はもともとその地震による津波で 2.7-2 ページで書いていただいたように、プレート間地震と日本海等もまざってるんですけども、本来、比較したいのはプレート間地震ですよと。
1:49:16	あの絵から見ると、全部実は内閣府モデルが

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:20	上回っているので、それは採用します。それを組み合わせて最終的にこういう基準津波をつくりましたっていう見せ方の方が私はいいんじゃないかと思うんですけどね。そこも含めて少し考えてみていただけますか。
1:49:47	電源開発菅野でございます。
1:49:51	ちょっとコメントのですね、ご主人と再度社内に持ち帰って、
1:49:56	何できるかっていうところは考えさせていただきたいと思います。以上です。
1:50:01	はい、よろしくお願いいたします。あと先ほど来おっしゃっていただいているようにこれは最後基準津波まで全部説明したいという肥料であればですよ。先ほど来申し上げているように1回資料これ練り直していただいて構成をちょっと変えていただいた上でですね、もう1回見させていただきたいと思ってるんですよ。
1:50:18	冒頭でですね。屋もすぐに審査会合という話であれば、むしろ後段ではなくて全体の話で前回のコメント回答だけ聞きますということになりかねないので、そこはまとめていただいているのであれば、1回資料を再構成していただいて、もう1回ヒアリングさせていただいたほうがいいと思いますが、いかがですか。
1:50:38	はい、電源開発タカオカです。我々としても基準津波策定までご審議いただきいただいて概ね妥当と言ってもらいたい気持ちはございますので、イワタさん言われた方向で
1:50:51	資料構成見直してもう1回ヒアリングという方向で進めさせていただきたいと思います。
1:50:58	はい、岩田です了解いたしました。
1:51:01	あとは審査側から何かほかに追加でコメントなければですね、以上にしたいと思いますがよろしいですか本件審査についてはですね。
1:51:13	電源開発の方から特に0ヶ月のタカオカです。その形でよろしいですね、
1:51:21	先ほどのホワイトボードの確認事項。
1:51:24	お示ししたいと思いますがよろしいでしょうか。はい、よろしくお願いいたします。
1:51:41	はい、えっとか、外殻施設の電源開発の岡です。
1:51:45	ご覧いただけてますでしょうか。
1:51:49	ちょっと映ってますが、すいません見えないので読み上げていただけますか恐縮ですが拝聴しました。ええとNo.1、
1:51:56	4-54-6 ページ、陸上の斜面崩壊等の足し合わせにおける
1:52:02	組み合わせ時間差の考え方と記載内容、構成について、
1:52:07	No.2、
1:52:08	5の5ポツ1の9ページ。
1:52:12	再来次下降ケースの水位評価位置の表記について

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:17	No.3、
1:52:19	遅くの寄付の 2 ページほか、
1:52:22	地すべりエリアのうち関係の表記についてナンバー4。
1:52:27	9 ポツ 1 の 3 ページ、9 ポツ 1 の 17 ページ、陸上の斜面崩壊との足し合わせにおける
1:52:34	概略検討との大小関係、それぞれの検討の位置付けについて、
1:52:40	No.6、5 ポツ 1 の 11 ページ、RSWPの運転可能継続時間の算定における設定条件について、
1:52:50	ナンバー7 栄光ポツ 2 ポツ 1 の 16 ページ図表の表記について
1:52:57	No.8 ローマ数字 9 ページ。
1:53:00	フロート資料構成の整合についてナンバー9、
1:53:05	2 ポツ 3 ポツ 1 の 6 ページ、3 ループ三陸沖から根室沖のプレート間地震に伴う津波の波源設定の考え方の記載について、
1:53:16	No.12 ポツ 3 ポツ 1 の 10 ページ、評価地点の考え方記載について、
1:53:23	No.11、2 ポツ 3 ポツ 1 の 6 ページとか長期根室沖から択捉島沖のモデルのフローへの記載、
1:53:32	滑り域の考慮について、
1:53:35	No.12、2 ポツ 3 ポツ 1 の 137 ページ、内閣府モデルと基準波源モデルの比較水位の大小関係の記載表現について、
1:53:46	以上となります。
1:53:55	何か特に気づきとかなければ、
1:53:58	はい。
1:53:59	すみません、サトウです一点だけ、前回何か資料に入れ忘れトイレ損なっただけというものがあつたというふうに聞いてますけども、それも前回のアツギのヒアリングでセット版のCO2 ちゃんと溶け込みまして資料整えて、
1:54:17	出してくださいというコメントです。
1:54:20	よろしいでしょうか。
1:54:22	いいです。
1:54:24	はい、電源開発タカオカです。はい。そのように整理したいと思います。
1:54:37	すみません、あと 1 点だけちょっと言い忘れてしまったんですが最後基準津波の選定のところでですね防波堤のありなしでですね評価結果変わってくるんだけれどもない場合と有る場合で波源が違うのでは両方選定しますという話だったと思うんですけども、その辺りの考え方をですね少し追記していただいた上でどうして

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:56	なんていうの結果が高いものだけを選定するのではなくて、例えば津浪防護施設、津波軽減設備として期待をしていないのでこれは壊れる可能性もあってその超えた場合には波源が違うので、追加しましたみたいな話をですね追記しておいていただいたほうがいいと思いますがいかがですか。
1:55:19	電源開発カンダでございます。組み合わせじゃ防波堤のところなので、例えば2ヶ所あるんですか次申請で言いますと、
1:55:32	2-8-2 ページ。
1:55:38	になりますか、
1:55:40	検討方針のところですね。
1:55:43	少々お待ちください。
1:55:46	はい。
1:55:47	このページの前段ですと検討しているのは防波堤等があるケースを対象にしておりますが、
1:55:55	果等を津浪影響軽減施設としてはとしていないので、地震による損傷が必ずしも否定できないからできないことから、防波堤等の有無が基準津波策を選定に与える影響を確認するため、
1:56:11	演題ケースについても検討するということは記載をしているんですけども、そういう意味でしょうか。えっとですね、ここに書いてあるの前回も確認させていただいたんですけど最後にですね、基準津波を選定するときの考え方としてもう1回ちゃんと書いたほうがいいとかそういうすいませんコメントです。
1:56:32	はい、電源開発カンダでございます。
1:56:35	承知をいたしました。ちょっとあのを記載する場所についてはちょっと検討いたしますが、
1:56:44	孫請を基準津波の選定のところ、
1:56:49	ですかね、そういうところでええ記載をすれば、記載をするベースというそういうコメントという理解でよろしいでしょうかはいそうですねあの最後5章のところこここういうものが選ばれたんだけど、これはこういう考え方で決めましたというのが一応わかるようにしておいたほうがより我々も理解が進むので。
1:57:05	よろしいのではないかとコメントでございます。
1:57:09	はい、電源開発カンダでございますコメントありがとうございますそのようにに修正したいと思います。
1:57:18	はい、じゃあ他になければですね以上にしたいと思いますがよろしいですか。
1:57:23	電源開発タカオカです。はい、こちらも複数の形でよろしいです。はい、本日はお忙しいところ、どうもありがとうございましたありがとうございますちやうもう一度録音を求めます。はい、お疲れ様でした。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。